

稲荷山コースで高尾山へ

日時：2020年1月25日（土） 天候：曇 健脚LV1 歩数1万7000歩 9km

集合：京王高尾山口駅9時30分

コース：京王高尾山口駅（標高191m）→稲荷山コース登山口→旭稲荷→稲荷山・東屋（標高410m）
→尾根道→4差路→高尾山山頂（標高599m）→6差路→（5号路）→（裏道）→薬王院→
（1号路）→浄心門→ケーブル高尾山駅（標高472m）→（1号路）→京王高尾山口駅

参加者：市村L 中村ゆSL 山田SL 勅使河原 平石 熊坂 青松 長井 丹後 畠 岩元 鈴木孝
三田 古尾谷 鹿島 15人

都心から1時間、高尾山はミシュランガイドにも紹介された観光地です。山では富士山とともに三ツ星になっています。高尾山は「世界一登山客の多い山」で、年間の登山者数は260万人を超えています。世界中では年間700万人が登山を楽しむそうですが、そのうち260万人が高尾山の登山者です。1300種以上の植物、100種以上の野鳥、5000種以上の昆虫が生息している自然豊かな山です。

今回の高尾山山行は、「健脚初参加の方歓迎、上りは稲荷山コースで下りはケーブルカー高尾駅からケーブル利用で下山」と呼びかけをさせていただきました。1週間前の天気予報では、25日（土）は雨模様、翌26日（日）は雪模様、ところが前日の天気予報では晴、降水確率は0%。予報は少し外れて曇り空、コース名の由来となっている旭稲荷から尾根道をゆっくり上り高尾山山頂をめざしました。



高尾山口駅（191m）～稲荷山コース登山口～旭稲荷で安全山行祈願

高尾山口駅は、電車が着くとどっと登山客が降りてきます。定刻9時30分に全員集合、進行方向左側の広場で山田サブリーダーによるストレッチ、市村リーダーがコース説明。9時45分、この日の先頭担当中村サブリーダーと青松さんを先頭にスタート、最後尾担当は山田SLです。

お土産屋、ケーブルカー清滝駅の横を通り、稲荷山コース登山口へ。直進すると6号路、左の階段を上ります。いきなりの急登、青松さんが足取り軽く、中村SLの前を上っています。まずは足慣らしでゆっくりと上り旭稲荷で衣類調整です。中村さんと青松さんが、代表して「安全山行祈願」をしました。

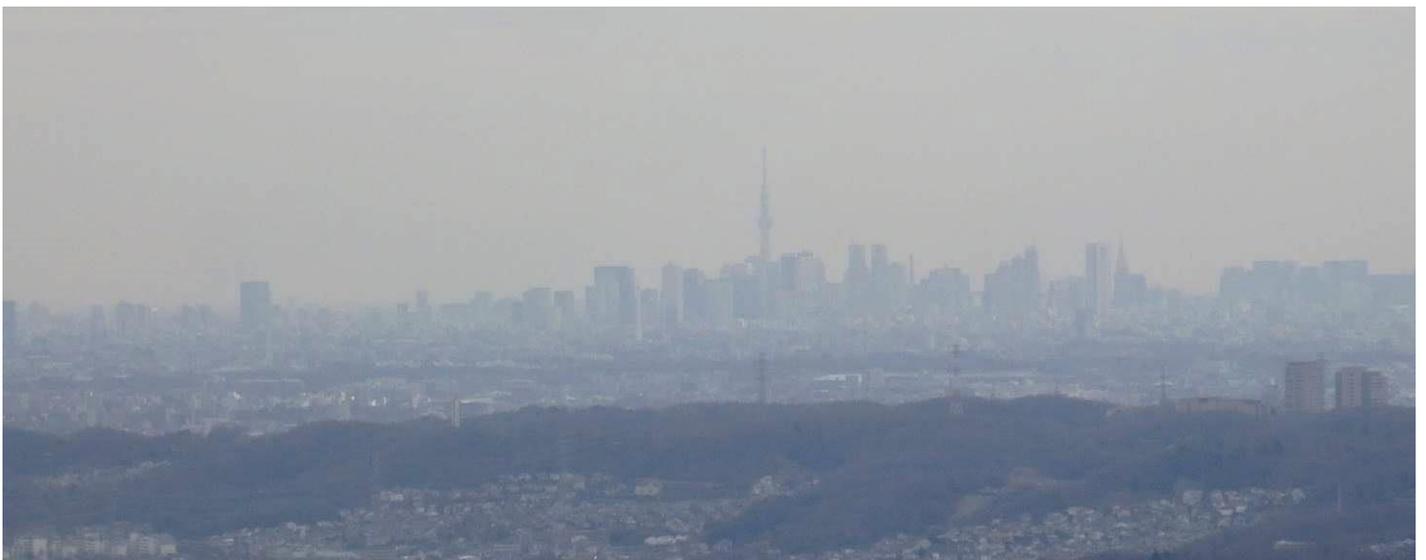


旭稻荷～ゆっくりペースで上り～稲荷山・東屋（410m）都心展望

旭稲荷をスタートです。木の根が張り出した山道、木段の上り道が続きます。若い人が追い抜いて行きますが、道を空けてゆっくりペースで上ります。台風19号の被害か、木が倒れている下をくぐって進みます。

3. 1kmの稲荷山コース、3分の1の1. 2kmを歩いてきました。

石畳の道、木段の道を上り、10時40分に稲荷山山頂の東屋へ到着。標高410m、丁度半分上り小休憩。曇空でしたが、手前に八王子市街、遠くに東京都心のビル群、スカイツリーが展望できました。



東屋～快調に&ゆっくりと尾根道歩き～先発組&ゆっくり組で山頂へ

10時50分、中村SLを先頭に東屋スタートです。比較的なだらかなところは快調に、階段などの上り道はゆっくりと、尾根道を進みます。この時間になると下山して来る単独登山客と多くすれ違いました。

山頂直下の4差路まで来ました。急登の木段で上ると距離200mの道標。「先発組がんばって～」の声に山田SL等が笑顔で応えてくれました。ゆっくり組5人は、先発組を見送ってからゆるやかな道で山頂を目指します。先発組は11時45分に高尾山山頂へ、ゆっくり組は11時55分に到着しました。



冷たい風が吹く高尾山山頂 温かいコーヒーで連帯感も温まる

高尾山山頂は、ケーブルカーを利用して1号路を軽装で上ってくる人、稲荷山や6号路を登って高尾山山頂への登山者、景信山や陣馬山から縦走してきた登山者で溢れていました。

この日は、残念ながら富士山は見えませんでした。東屋のテーブル席と石垣に分かれて座り昼食タイム、熊坂さんと中村さんがコーヒーを入れてくれました。冷たい風が吹く山頂での温かいコーヒーで「山頂を極めた」連帯感も温まりました。集合写真を撮って、青松さんと市村は高尾ビジターセンター見学。13人はもみじ台方面へ下りて、5号路経由で山頂直下の1号路との交差点をめざして下山しました。



高尾山山頂～ビジターセンター見学～富士道で下山～薬王院山門

高尾ビジターセンターは、高尾山の歴史や自然を楽しく遊びながら学べる展示がされています。高尾山で見かけた花や動物の検索もでき、奥多摩ビジターセンターや御岳ビジターセンターなど東京都の自然公園やビジターセンターの紹介コーナーもされています。青松さんと二人、温かい館内で見学です。

13時丁度、先発組と合流して富士道で下山。薬王院裏道では今年初の紅梅を目にすることができました。仁王門下に出て山門で小休憩、お土産購入している人を待ちます。後ろには天狗像が立っています。周辺には願叶輪潜（ねがいかなうわくぐり）、六根清浄石車（ろっこんしょうじょういしぐるま）などもあります。



山門～1号路～杉苗奉納者御芳名板～たこ杉～さる園前～ケーブル駅

薬王院山門を出て1号路を下ります。左側に「杉苗奉納者御芳名板」が続きます。一番左が拾萬本の高奉納者、京王電鉄、高尾登山電鉄の次に歌手の北島三郎さんの名前が有りました。女坂から浄心門を通りたこ杉へ、さらに進むとさる園前。13時45分、山頂から約130m下りて標高472mのケーブル高尾山駅へ到着です。予定より1本早い14時00分発のケーブルカー乗車待ちにしてトイレタイム。



ケーブルカー高尾駅～1号路～フリーウォーキングで高尾山口駅へ

ところがところが「あるいて下山したい」という希望が出て、「予定時間より早く到着」したことも考慮して、みなさんに「ケーブル組と歩いて下山組」で計ったところ、全員一致で1号路を下ることになりました。

ここからは一本道、フリーウォーキングで勅使河原さんの足取り軽く、長井さんも快調です。小休憩をして水分補給、ケーブル清滝駅広場にはムササビなどのモニュメントがあります。14時30分、高尾山口駅横の広場でクールダウン。アフターは、高尾駅近くのサイゼリヤで行いました。11人で乾杯～



9km・1万7千歩のゆったり「稲荷山コースで高尾山へ」

ゆったり「稲荷山コースで高尾山へ」、歩行距離は2km延びて9km、歩行数は1万7千歩でした。あいにくの曇空で富士山は展望できず、夜明けの気温が零下にならず「シモバシラの花」も見ることができませんでした。次の機会にしたいと思います。写真は以前撮影したものです。(いちむら記)

